

環境科学院 地球圏科学専攻

修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 令和8年2月4日(水)

●座長: 豊田 威信(大気海洋物理学・気候力学コース 助教)

9:20 - 9:40 早川 諒(大気海洋物理学・気候力学コース)

「赤道準2年振動に内在する東西非一様性について」

9:40 - 10:00 松村 建(大気海洋物理学・気候力学コース)

「沿岸流速変動は薄氷で強化され厚氷で弱化される: 北極アラスカ沖 12年連続係留データより」

10:00 - 10:20 嶋田 蓮(生物地球化学コース)

「Photosynthetic and growth responses of Antarctic mixotrophic microalgae to ocean warming

(海洋温暖化における南極産混合栄養性微細藻類の光合成および増殖応答)」

10:20 - 10:40 筒井 美森(大気海洋物理学・気候力学コース)

「地球温暖化による夏季日本周辺気候の変化 ~観測・CMIPモデルを用いた再現性と将来予測の検討~」

< 20分休憩 >

●座長: 水田 元太(大気海洋物理学・気候力学コース 助教)

11:00 - 11:20 桐生 紗稀人(雪氷・寒冷圏科学コース)

「グリーンランド南東ドーム(SE-Dome II)アイスコアに記録された不溶性微粒子による過去221年間の環境変化の復元」

11:20 - 11:40 相川 智洋(大気海洋物理学・気候力学コース)

「赤道準2年振動がアジア域の大気現象に及ぼす影響」

11:40 - 12:00 井元 士穂(大気海洋物理学・気候力学コース)

「東南極サブリナ海岸沖における氷山漂流特性とその海洋流動場との関係」

12:00 - 12:20 鈴木 翔互(雪氷・寒冷圏科学コース)
「冬季北海道における夜間地表面冷却量の地域特性と地形の関係」

< お 昼 休 み 12:20 - 13:20 >

●座長:鈴木 光次(生物地球化学コース 教授)

13:20 - 13:40 平野 瑞幸(雪氷・寒冷圏科学コース)
「グリーンランド南東ドームアイスコアの森林火災イベント層に含まれるオレイン酸アミド粒子」

13:40 - 14:00 澤田 隼輔(雪氷・寒冷圏科学コース)
「猿払川流域における懸濁物質濃度の時空間変動とその変動要因に関する研究」

14:00 - 14:20 江澤 元太(大気海洋物理学・気候力学コース)
「PALSAR-2 画像とICESat-2 氷高データを用いて北極海海氷の変形氷分布を推定する方法の開発」

14:20 - 14:40 岩橋 駿(雪氷・寒冷圏科学コース)
「知床・ポンベツ川左岸の漁網・ロープ分布の経年変化」

< 20 分 休 憩 >

●座長:谷本 陽一(大気海洋物理学・気候力学コース 教授)

15:00 - 15:20 松枝 諒(大気海洋物理学・気候力学コース)
「航空機事故を引き起こす対流性乱気流を予測するための指標の検討」

15:20 - 15:40 矢澤 宏太郎(雪氷・寒冷圏科学コース)
「UAV を用いたグリーンランド北西部カナック氷河の表面地形と動態解析」

15:40 - 16:00 吉田 禎之助(大気海洋物理学・気候力学コース)
「Impacts of rough topography on the energetics of the Antarctic Circumpolar Current (粗い海底地形が南極周極流のエネルギーバランスに与える影響)」

16:00 - 16:20 菊池 和詩(大気海洋物理学・気候力学コース)
「アナログ手法を用いた令和2年7月豪雨に対する地球温暖化影響の評価」

< 20 分 休 憩 >

●座長:飯塚 芳徳(雪氷・寒冷圏科学コース 教授)

16:40 - 17:00 横河 理来(生物地球化学コース)

「根室半島湿原泥炭コアを用いた晩氷期以降の気候復元」

17:00 - 17:20 新井 正矩(生物地球化学コース)

「sedaDNA を用いた西部北極海における 20 世紀後半の古環境解析」

17:20 - 17:40 杉田 雅(生物地球化学コース)

「東南極における氷床由来の淡水流入量の推定とその生物生産への影響評価」

17:40 - 18:00 京野 祐大(大気海洋物理学・気候力学コース)

「GPM/GMI における海上大気比湿推定アルゴリズムの開発 -高周波チャンネルの有効性-」

【第2日目】 令和8年2月5日(木)

●座長:岩崎 晋弥(生物地球化学コース 助教)

9:20 - 9:40 矢野 翔太(生物地球化学コース)

「過去 2000 年間における青森県姉沼・内沼への鉱物・黒色炭素供給パターンの変動」

9:40 - 10:00 陳 熙(大気海洋物理学・気候力学コース)

「複数の機械学習モデルを用いた札幌の PM2.5 予報手法の検討と濃度変動の要因分析」

10:00 - 10:20 久保 悠(生物地球化学コース)

「Carbon isotope fractionation of dissolved organic matter due to photodegradation
(溶存有機炭素の光分解に伴う動的同位体分別)」

10:20 - 10:40 岩堀 佑(雪氷・寒冷圏科学コース)

「猿払川における溶存鉄の動態に関する研究」

< 20 分 休 憩 >

●座長:チェ ヒョンテ(生物地球化学コース 助教)

11:00 - 11:20 阿部 優樹(大気海洋物理学・気候力学コース)

「台風海洋相互作用を介した北太平洋亜熱帯モード水と台風との関係」

11:20 - 11:40 吉村 駿斗(生物地球化学コース)

「西部北極海における過去 300 年間の環境変動に伴う有孔虫殻形質の変化」

11:40 - 12:00 渡邊 祥多(生物地球化学コース)

「過去 15 万年間における南極ドームふじアイスコアの有機エアロゾルトレーサー記録」

12:00 - 12:20 佐々木 菜南(生物地球化学コース)

「北日本における最終融氷期から完新世初期にかけての気候変動復元」

< お 昼 休 み 12:20 - 13:20 >

●座長:黒田 寛(大気海洋物理学・気候力学コース 准教授)

13:20 - 13:40 川畑 愛歩(大気海洋物理学・気候力学コース)

「オホーツク海への淡水流入量に影響を与える周辺域を含めた降水量の解析」

13:40 - 14:00 **川野 雄大(雪氷・寒冷圏科学コース)**

「UAV の空中写真を用いた空間的な流速分布の解析」

14:00 - 14:20 **後藤 暢和(大気海洋物理学・気候力学コース)**

「極渦変動がもたらす環太平洋域の冬季気象への影響」

14:20 - 14:40 **中山 智博(雪氷・寒冷圏科学コース)**

「Acoustic monitoring of proglacial discharge in Qaanaaq Glacier, Northwest Greenland
(グリーンランド北西部 カナック氷河の流出河川における音響観測)」

< 20 分 休 憩 >

●座長: **白岩 孝行(雪氷・寒冷圏科学コース 准教授)**

15:00 - 15:20 **大野 舞子(生物地球化学コース)**

「水溶液中のアンモニアの安定窒素同位体比の微量・簡易分析法の開発」

15:20 - 15:40 **樽谷 一步(大気海洋物理学・気候力学コース)**

「SWOT 衛星を用いた南大洋季節海氷域における高分解能海面力学高度分布の解析」

●令和7年9月修了生

- ・令和7年7月23日(水) 9:30~9:50
- ・場 所: 環境科学院 大講義室 D201
- ・座長: 藤原 正智 (大気海洋物理学・気候力学コース 教授)

9:30 - 9:50 坂岡 耕太(生物地球化学コース)

「南大洋チリ沖における最終間氷期以降の炭酸塩溶解変動の復元」